資料③

補足資料

市民アンケート結果から見た
紀の川市の現在と未来

令和8年1月

紀の川市の現在の印象と未来のイメージ

現在

全体結果（報告書p.10）
- 現在の紀の川市について、水道水の安定供給、緑豊かな環境や衛生的な生活環境などのイメージ持っている方が多い。

年齢（報告書p.13）
- 若年層：子どもが健やかに過ごせる
- 働く世代：子育て支援の充実
- 中高年層以上：生涯健康的な生活

お住まい（報告書p.15）
- 打田：生涯健康的な生活
- 粉河：地域の支え合い
- 那賀・桃山：交通事故や犯罪が起きにくい
- 貴志川：子どもが健やかに過ごせる

居住年数（報告書p.16）
- 短い：地域の支え合い
- 長い：生涯健康的な生活

未来

全体結果（報告書p.22）
- 未来の紀の川市について、医療体制・医療保険制度の充実、高齢者や子どもたちが安心して暮らせるまちになってほしいと考えている方が多い。

年齢（報告書p.24）
- 若年層：交通事故や犯罪が起きにくい
- 働く世代：子育て支援の充実
- 中高年層以上：公共交通ネットワークの構築

お住まい（報告書p.26）
- 各地域共通：子どもが健やかに過ごせる

居住年数（報告書p.27）
- 短い：子育て支援の充実
- 長い：公共交通ネットワークの構築

結果

- 現在の紀の川市は、自然豊かで生活環境が整っているというまちの印象を持っている。
- 未来の紀の川市は、歳を重ねても安心して暮らせるまちを望んでいる。

- 若年層は子どもが健やかに過ごせるまちの印象を持っており、安全・安心なまちを望んでいる。
- 働く世代は子育て支援が充実したまちの印象を持つとともに未来も子育て支援の充実を望んでいる。
- 中高年層以上は歳をとっても健康に暮らせるまちの印象を持っており、公共交通の利便性の向上を望んでいる。

- 各地域で現在の紀の川市の印象は異なっている。
- 未来の紀の川市は、すべての地域で共通して、子どもが健やかに過ごせるまちを望んでいる。

- 居住年数が短い方は地域の支え合いができるまちの印象を持っており、子育て支援が充実したまちを望んでいる。
- 居住年数が長い方は歳をとっても健康に暮らせるまちのイメージを持っており、公共交通の利便性の向上を望んでいる。